

透明な うたかた

ガラスびんに映った近現代

私たちのくらしの身近にあるガラスびん。食品用や薬品用などのさまざまな場面で使われており、たくさん造られ、広く流通しています。こうしたガラスびんは、実は遺跡からも縄文時代や平安時代などの出土品とともに、近現代に埋まったモノとしてみつかることがあります。

ガラスは時間の経過による変化や劣化が少ないため、遺跡から出土するガラスびんは使われた当時の姿をほぼ残している貴重な文化財といえます。

本展覧会では、市内の遺跡でみつかったガラスびんや近代に使われていたさまざまなガラスびんを集め、私たちのくらしにどのように関わってきたのかを紹介します。

金平糖びん：岩手県細谷地遺跡出土
大正末期～昭和初期 大きさ12.8cm(鉄砲形)盛岡市遺跡の学び館蔵



子どもたちのおもちやになつたガラスびん

ポマードびん：岩手県細谷地遺跡出土
昭和前期 大きさ4.6cm
盛岡市遺跡の学び館蔵



紫外線で発光する
ウランガラス

助産道具 昭和 大きさ27cm(カバン)
岩手県立博物館蔵



命をつなぐ道具と
ガラスびん

哺乳器 昭和 大きさ16cm
当館蔵



清潔さが大事な赤ちゃん
のためのガラスびん

関連イベント

○特別展ギャラリートーク

【日程】10月8日(土)、11月19日(土)

【時間】各日10:00/14:00(要観覧料)

○特別展講演会 **要申込**

【日時】11月12日(土)14:00~16:00

【会場】博物館 体験学習室

【演題】おいしい!青森のラムネとサイダーの歴史

【講師】^{ますた みみやす}増田 公寧(青森県立郷土館)

【定員】25人

○環境学習会 **要申込**

【日時】10月22日(土)10:00~11:00

【内容】八戸のごみとリサイクル~かえてくるガラスびん~

【講師】環境政策課

○館外講座(見学会) **要申込**

【日時】①10月29日(土)14:00~16:00

②11月2日(水)13:30~15:30

【内容】①三島のサイダーびんを見に行こう!

②ガラスびんの“その後”を見に行こう!

【協力】①八戸製氷冷蔵㈱ ②八戸リサイクルプラザ

○協力 内藤記念くすり博物館、弘前大学北日本考古学研究センター、岩手県立博物館、青森県立郷土館、盛岡市遺跡の学び館、つがる市教育委員会、埋蔵文化財センター一是川縄文館、南郷歴史民俗資料館、八戸市立図書館、八戸ポータルミュージアムはっち、八戸リサイクルプラザ、八戸製氷冷蔵㈱ 石橋ガラス工房

博物館

〒44-8111 根城字東構35-1 開9:00~17:00(入館は16:30まで) ☎10/11・17・24・31、11/4・14・21【観覧料】一般300円、高校・大学生150円、小・中学生50円 ※市内の小・中学生は無料。市内65歳以上、障害者手帳をお持ちの人と同伴者1人は半額